

# 商品企画

経営学部 澤田慎治

今年四月にパソコンを新しくしました。以前のパソコンは、二〇〇七年から使用していたのですが、昨年のある時期に調子がよくなかったために新しくしました。新旧のパソコンは両方とも同じメーカーですが、新しいパソコンは使い心地が一段とよくなっています。使う人の気持ちや行動を考えて商品を作るこのメーカーは、パソコンに限らず商品を企画、開発する人にとっての手本です。

旧パソコンから新パソコンへデータの移し替えをしている時、引越し作業中に見つけたアルバムのように、あるフォルダ内を懐かしく見入ってしまった。そのフォルダ名は、「専門ゼミ提出物」。折角ですので、フォルダの中にあつた写真を紹介したいと思います。

遅ればせながら、澤田慎治専門ゼミナールの学生は、商品企画を中心に学んでいます。

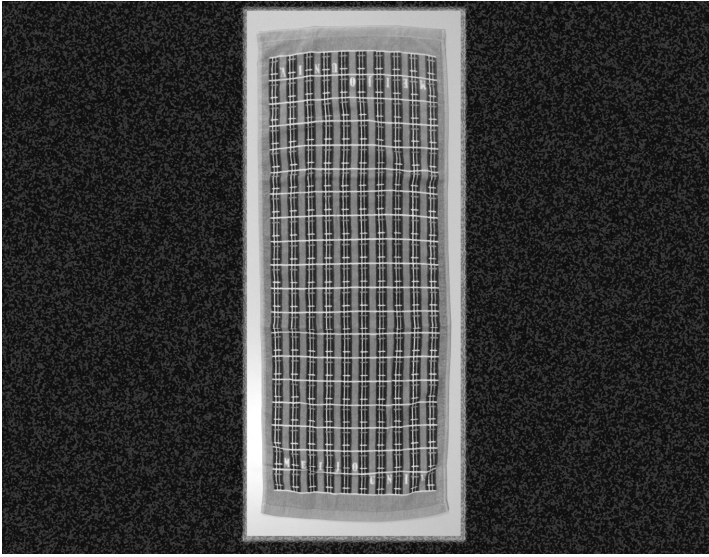




#### 経営学部スタッフジャンパー (2008)

ゼミ生が取り組んで、初めて形に出来たのが、このスタッフジャンパーです。今でも、名城大学内で着用してもらっているところを見かけます。

当時の経営学部事務長から声を掛けて頂き、取り組みました。初めてのことで、どこまで出来るのか分からない状態でしたが、機会を与えて頂き、ありがとうございました。



## 第六回名城大学 Day 配布グッズ (2009)

普段気軽に使って頂けるようにチェック柄、しかも、名城大学のタワー75にも見えるタオルです。アイデアの創出と、アイデアを形にする作業の両方が共に上手くできたために、完成したグッズです。

中学生がこのタオルを首から提げているのを見かけました。部活に、勉強に、どんどん使って、名城大学をアピールして下さい。

企画を行う上で、名城大学 Day 担当の総合政策部職員さんには、お世話になりました。



## 第一回経済学部デイハイクTシャツ (2010)

経済学部デイハイクで配付されるTシャツで、参加者用とスタッフ用の二種類です。

ゼミ生は、デイハイクに参加してイベントの内容を調査した後、提案と修正を繰り返し、完成させました。商品企画の経験が少ない二回生は、最初に考えたアイデアや、いったん具現化したものを修正することに抵抗感があります。しかし、何度も訂正や修正をすることが出来たものほど、完成品は高くなります。まさに、この二点もそうでした。初めとは見違えるTシャツになりました。





## 第七回名城大学 Day 配布グッズ (2010)

レジかごタイプのエコバックです。スーパー前で買い物客にアンケートを採るなどして、使用者がエコバックに求める条件を導き出しています。その結果を基に、簡単に折畳めるエコバックを考案しました。その過程では、試作品を何通りも作り、製造コストを掛けないことも考えています。このエコバックは、名城大学 Day で配布しました。

これら一連の作業を、他大学の学生と競う経済産業省主催の社会人基礎力育成グランプリ二〇一〇で発表し、奨励賞を頂きました。

先日、長久手市のスーパーで、このエコバックを使用している人を見かけました。使って貰えることが目標だったので、ようやく、課題を達成できた感じです。



### ラグビー部六〇周年記念Tシャツ (2011)

ラグビー部監督の経済学部今西教授から声を掛けて頂きました。ゼミ生は、練習場へ取材に出掛け、取材で得たチームの強さをTシャツに仕上げています。

一一名のゼミ生が取り組み、最終的に選ばれたのは一名の案です。選ばれた案は、他のメンバーからの助言や手助けがあつて完成させることが出来ました。また、日頃から各々が影響し合っているからこそ出せた案です。澤田ゼミもチームで動いています。



#### 経営学部スポーツ大会参加記念品 (2011)

商品の選定、業者の探し出し、デザイン等の各作業で何をすべきか理解し、チームで上手く作業をしていました。完成することができました。

当時、別の課題を行っている最中でしたので、二回生がゼミ時間以外にこの課題に取り組みました。業者に発注する締め切り日は、一限目の前に修正作業をしていました。澤田ゼミには、チーム作業以外に体力も必要です。



## レンタカー利用ビジネスのコンテスト (2011)

レンタカー会社主催のコンテストに、澤田ゼミ生が提案した企画書の表紙です。受賞したのは社会人で、澤田ゼミ生は賞を逃しました。しかし、ゼミ生が提出したこのアイデアに関して、審査員の方からは個人的に面白かったと講評されました。

受賞するには、あと少しでした。しかし、提案したアイデアをあと少し良くすることが出来ても、受賞することは出来なかつたと思います。別のアイデアが必要で、それを探すため、澤田ゼミ生は、沢山のアイデアを考えても、まだ良いアイデアはないか考えます。

今回紹介できなかつた分も含め、澤田ゼミに提案の機会を与えて下さった皆様ありがとうございました。与えて頂いた機会を通して、ゼミ生は本当に多くのことを学んでいます。

ゼミ生が良い案を出せるか？ 私自身、毎回不安です。ただ、ゼミ生は、その時に出来る最善のことはしてくれています。

澤田ゼミ生が取り組める課題をお持ちの方(企業の方)、是非お声を掛けて下さい。